

雑司が谷旧宣教師館だより

第16号

2000年9月10日発行

豊島区立雑司が谷旧宣教師館

〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷1-25-5 ☎ F A X (03)3985-4081

鬼子母神のお土産は 五色の風車と角兵衛獅子

子育ての神様として知られる鬼子母神。本堂は建立が1666（寛永6）年で都の指定有形文化財です。境内のイチョウと参道のケヤキ並木は都の指定天然記念物になっています。

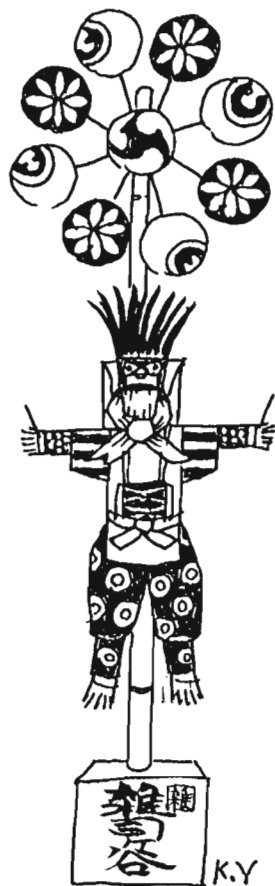
そして鬼子母神といえば川口屋の飴が江戸時代からすでに有名であり、すすきみみずくも鬼子母神の郷土玩具として今なお愛されています。

古い書物（注①）をひもとくと、かつては鬼子母神詣での土産として、風車と麦わら細工の角兵衛獅子が売られていたとあります。「風車子持ちの神が売り初め」と川柳にあるように、鬼子母神の玩具の中では風車が一番古いものようです。

五色の風車も麦わら細工の角兵衛獅子も、いつの頃から姿を消したのかわかっていません。

かねてより郷土の歴史を掘り起こし、それらを後世に語り継ごうと郷土史の研究をなさっている矢島勝昭さん（注②）

は、古い文献や江戸時代の絵画等（注③）に描かれている風車と麦わら細工の角兵衛獅子を探し出し、試行錯誤のご苦労を重ねた末に見事復元されました。



復元した風車と角兵衛獅子
カット 矢島勝昭氏

8月23日（水）の午後、雑司が谷の地元の人々に郷土玩具を継承してほしいという矢島さんの思いに賛同した人々が集まり、本館事務棟で講習会が行われました。

直径が10cm余りの風車は、8枚の円形の和紙が色鮮やかに風に回ります。背丈が10cm足らずの麦わら細工の角兵衛獅子は、はかまの上に前掛け・頭巾・赤い襟巻きを巻いています。太鼓を首からつり下げ、楊枝を半分にして作ったばちをしっかりと持ち上げた精巧なものです。

外壁工事終了後、本館玄関に展示します。

（注①）『地誌御書上』 1825（文政8年）、1829（同12年）にかけて幕府に提出した町村の起立・沿革の調査報告書。

（注②）地域を知り語り継ごうという会である「雑司が谷界限」発起人の一人。南池袋在住。

（注③）北川歌麿作『風流四季の遊、玄英の雑司が谷詣』
長谷川雪旦画『江戸名所図会』の「鬼子母神の茶店と角兵衛獅子売店」

休館のお知らせ

10月1日（日）

～ 11月30日（木）

来る平成12年10月1日（日）より平成12年11月30日（木）迄、雑司が谷旧宣教師館の外壁塗装及び内部補修工事のため2ヶ月間休館となりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

外壁塗装は平成6年以来の6年ぶりの工事となります。建物の保護には3年毎のペンキ塗り替えが望ましいといわれています。シングルとよばれる1枚板の、とりわけスカート状に広がっている部分の損傷がひどく、今年の塗装工事は必須でした。

文化財の工事であるため、本来の形をそのまま残すことを第一義としています。今回の工事にあたっては、当初の保存修理工事にむけて建物保存調査を

行った山口 廣日大名譽教授に助言していただく予定です。

加えて今回の工事には内部補修も含まれ、懸案だった上げ下げ窓の紐の修理も行われます。洋館の特色のひとつである上げ下げ窓は、窓の開き具合を滑車と分銅と紐で調節しますが、本館では約1/3の上げ下げ窓の紐が切れた状態でした。

夏の暑い日に窓を締め切ったままの部屋もあり、来館者の皆様にはご不便をおかけしましたが、工事終了後は全部の窓が開閉自在となります。



この工事では、他に壁の亀裂・床の軋み・建具金具の補強・防蟻工事等も行います。仕上げは窓のブラインドの交換です。平成元年の開館から早12年の年月が経ち、日除けのブラインドも差し込む日差しや雨の滲みで哀れな様相になってきています。

来館者の声の中に、1階のピテオが西日の反射で見づらいという指摘があるので、今回は遮光性のあるブラインドを取り付けます。

12月の初めには、白い外壁にくっきりとした緑の窓枠、そして赤い屋根の清々しい姿で登場します。晴れ姿をぜひ見にいらしてください。

【お詫び】

気候の良い秋が休館となり、来館者の皆様にはご迷惑をおかけします。今回の工事は床・壁・窓枠・階段・床下と建物全体に及ぶため、内部への立入りはお断りすることにしましたのでご了承ください。

来館者の声

♪とても静かで大好きです。これからも来ます。よろしくお願いします。(20代 男 東池袋。歩いてたら見つけた。3回目～ 6/21)

♪雑司が谷霊園の近くだけあって閑静な場所だと思った。当時の地元の人にとってはかなり異色な建物だったのではないだろうか。(10代 男 西池袋。広報としま・知人から。初めて。6/29)

♡手入れの行き届いた建物と庭、暑い中やっとさがし当て来たかがありました。またおたずねしたいです。ありがとうございました。(50代 女 神奈川。雑誌の記事で。初めて。7/6)

♡木の床が懐かしい。スリッパ不用を望む。(50代 女 雑司が谷。知人から。初めて。7/19)

※ご提案とってもうれしく拝見しました。本当は裸足でOKなのですが、古いので所々くぎが浮いてきたりします。またオープンスペース故に強風の日には砂埃もあがるのでスリッパを使っています。

周辺の名建築 II

鳩山会館

文京区音羽の台地に建つこの洋館は、大正・昭和の政党政治家として有名な鳩山一郎(1883～1958)の自邸であった。竣工したのは大正13(1924)年で鉄筋コンクリート3階建て。

設計者は銀座の歌舞伎座や、丸の内の明治生命館を手掛けた岡田信一郎であり、二人は旧制中学以来の親友であった。外壁の隅・軒・階段室のステンドグラスやベランダの手摺り等、建物全体に住み手の名前に因んだ『鳩』『鳥』の装飾が施されている個性的な邸宅建築である。

MEMO 鳩山会館は一般公開されています。

○休館日 月曜日 ○開館時間 午前10時～午後4時 ○入館料 大人 500円
○最寄り駅 地下鉄有楽町線護国寺または江戸川橋

🌸🌸お🌸原真🌸い🌸🌸

本館の中庭には3つのフラワーボット、奥に花壇があります。苗床を作って種を蒔き、移植を繰り返しては何とか花を絶やさないようにしています。センスの問題なのでしょうガガーテニングは難しいです。育てやすい花の種・苗がもしも余っていたらください。よろしくお願いします。

【編集後記】 旧宣教師館としては「売り」の時期の休館は心苦しく、申し訳けなさでいっぱいです。東京都の広報には掲載不可だったため、知らずに来館する人もいるはず。事務室で写真を見ていただく等必要に応じ精一杯対応します。(文責 浜地)